

Intermag 2018 国際会議参加報告

2018 年 4 月 23 日から 27 日の 5 日間、シンガポールのマリーナベイ・サンズ国際会議場で Intermag 2018 国際会議が開催されました。この会議は磁性に関するあらゆる分野の研究者が世界各国から集結する、5 千人規模の主要会議です。

会議では口頭発表およびポスター発表、招待講演に加えて、シンポジウム、チュートリアルセッションも設けられており、スピントロニクス、エネルギー技術、電力技術、生物磁気学、IOT の多分野にわたり、磁性研究の基本から応用に及ぶ最新動向が一举に公開されます。折しもこの会議の 2 週間ほど前の 4 月 7 日に、GMR (巨大磁気抵抗効果) の発見で 2007 年ノーベル物理学賞を受賞した Peter Grünberg 博士が急逝されたため、彼を追悼する場面も所々にありました。一柳は Magnetic Therapies and Nanomedicine II のセッションで 30 分の招待講演を行いました。講演の冒頭には、やはり Grünberg 博士との思い出を紹介し、会場でも哀悼の意を共有しました。この会議から選ばれた論文は、IEEE Transactions on Magnetics に掲載されます。今回の一柳の論文は“Functionalization and Magnetic Relaxation of Ferrite Nanoparticles for Theranostics”のタイトルで Volume:54, Issue:11 に掲載されました。

また、この会議では、Women in Magnetism という女性集会も設けられ、女性のみならず、キャリアをサポートする男性も参加し、活発な情報交換が行われていました。

(一柳優子)

